

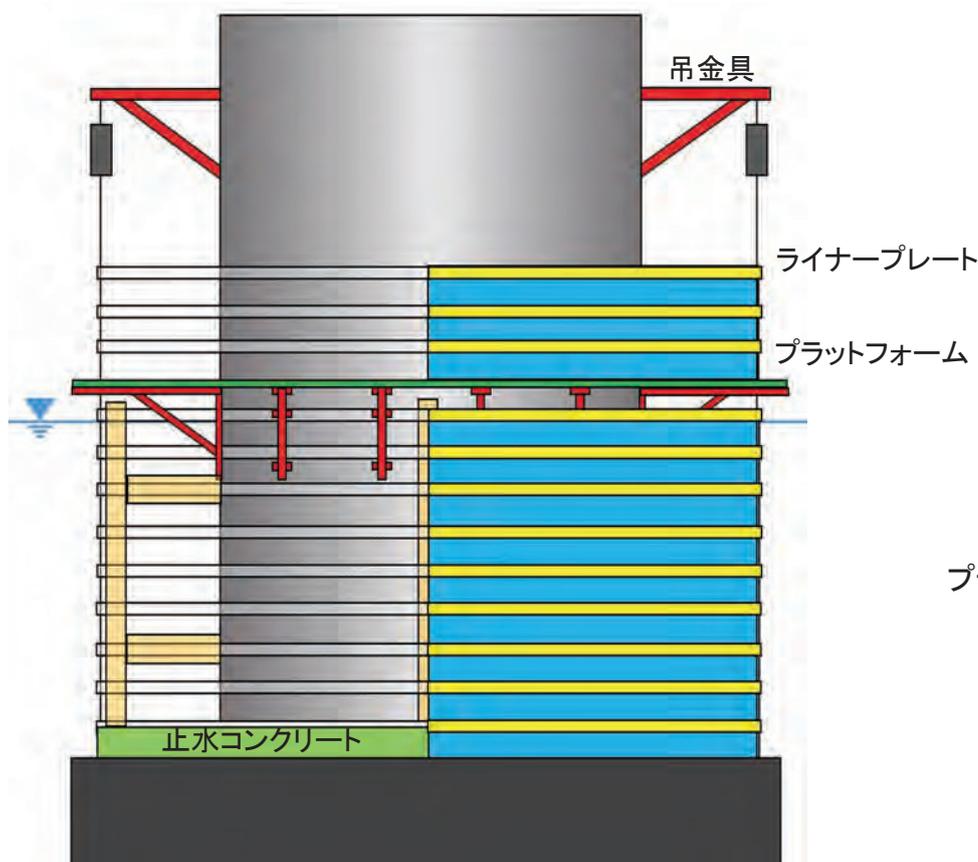
仮締切LPF工法[®]（橋脚補強用水中仮締切）

水中既設構造物の耐震補強工事においてライナープレートと用いた仮締切を行う場合、従来は潜水土による水中組立作業を行う方法や構造物周りに配置した複数の台船上で組立作業をする方法が一般的でした。仮締切LPF工法は特殊な仮設足場（ブラケット式プラットフォーム）を用いる事によって、仮締切用ライナープレートを迅速かつ安全に施工することが可能です。

【特長】

- プラットフォーム上での組立のため、施工精度、止水性が向上します。
- 潜水土による水中作業を大幅に削減することで約19%のコスト縮減と約25%の工期短縮が図れます。
- 使用機械が最小限ですむため、航路等周辺環境への影響を少なくすることが可能です。
- 水密性ライナープレートを使用するため、止水性が向上します。
- 狭隘空間や空頭制限下(2m程度)での施工が可能です。

【工法概要図】



吊金具とプラットフォーム

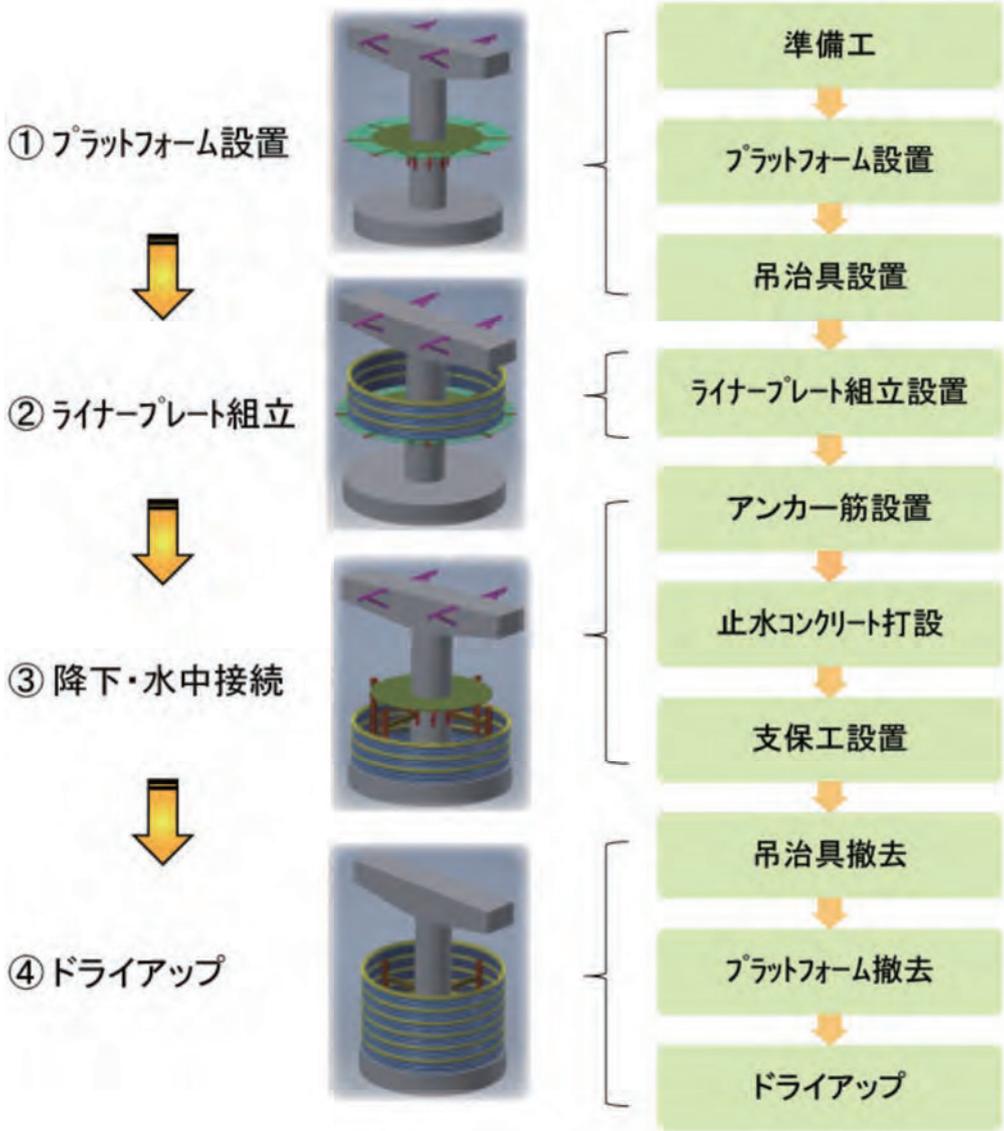


プラットフォーム上のライナープレート



止水コンクリート

【施工手順】



＜ご注意とお願い＞ 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。